

令和8年度 第1回 笠間市資料館運営委員会 議事録

1 日 時 令和8年5月8日（金） 午前9時55分から 午前11時10分まで

2 場 所 笠間市役所 教育棟2階 教育委員会室

3 出席者 笠間市資料館運営委員会委員 5名
事務局 4名

4 議 題

- (1) 資料館の利用状況について
- (2) 令和7年度事業報告について
- (3) 令和8年度事業計画（案）について
- (4) その他

5 議事内容

(1) 資料館の利用状況について (2) 令和7年度事業報告について

議 長：資料館の利用状況について、および令和7年度事業報告について事務局から説明をお願いします。

事務局：(資料により資料館の利用状況、令和7年度事業報告について説明)

議 長：閉館時間が16時半までから16時までになったことはよかったです。それから企画展が令和6年度から令和7年度にかけて実施され、その後も「昭和レトロな道具たち」展に繋がりました。各種広報も行われて大変よかったです。また、施設改善も行われていて、今後は照明関係に取り組んでいただきたいです。

議 長：何か気づいたことはありますか。

委 員：市外からの一般の人が多くなっていますが広報の成果でしょうか。

事務局：月刊みとなどの雑誌に掲載していただいていることで、ご覧になったお客さんが訪れていると感じています。

議 長：熊谷市から来た人や、品川ナンバーのバイクで来られた方もいました。「いばらきミュージアムガイド」に歴史民俗資料館が掲載されているからだと思います。

委 員：さまざまな資料でアピールや宣伝をしていることがよかったです。利用者数が令和7年度は平成28年度よりも多いですが、その前はいかがでしたか？

事務局：手元にある資料では、平成27年度のほうが多いです。ただ、その頃が近年ではピークだったと思います。

委 員：コロナ禍だった中、このような宣伝効果があり、市外の大人に広がっていくのはよい取り組みだと思いました。市内の小学生がもっと来てくれればと思います。市外の児童生徒は何市から来ていますか？

事務局：市外の方は団体ではなく、保護者と一緒に来ている数をカウントしています。団体利用で申し込みはありませんでした。

議長：各学校から申請すれば、輸送関係の予算は教育委員会が持ってくれるのですか？

事務局：そこまではしていません。

委員：小学校の担任を持っていた時は市バスがあり、申請すると学校まで来てくれて送迎してもらえました。バスの運転手が退職したと同時になくなったそうです。

委員：校外学習であれば市から予算が出るため、どこか校外学習に行った帰りに資料館に寄る形にすれば予算が出ると思います。

委員：同じ子どもたちが見るわけではないため、展示はそのままで十分可能でしょう。

議長：修繕の話ですと、省力化のため建物の外の樹木に除草剤を撒いたことで、現在は最後の1本が残っている状況です。

委員：除草剤は気を付けて撒かないと、植物はあっという間に枯れてしまいます。

委員：昭和レトロな道具たち展は、会期が過ぎたら全て撤去でしょうか？

事務局：展示している部屋は、また別の企画展を実施したいと考えています。何か展示できるものがあれば他の場所に移して展示できればと思っています。

委員：同じ子どもたちが来るわけではないため、そのまま展示を続けてもよいと思います。茨城県立歴史館はそのままだったと思います。昭和レトロな道具たち展は前期と後期で何が変わったのですか？

事務局：夏の道具と冬の道具に分けています。

事務局：展示の充実に関して、皆様に相談があります。小学生の社会科見学において、地域の産業を知る上で見せたい道具があれば、応じていきたいと考えています。

議長：明かりなどの、昔から今に引き継がれているもので、何かの分野に焦点を絞るのは面白いのではないのでしょうか。

委員：養蚕関係はこの辺りで盛んだったと思います。

事務局：地域交流センター大橋には養蚕関係の道具もあるため、展示の充実に向けていければと思っています。また、地域交流センター大橋は養蚕や消防など、部屋ごとに大まかな体系別で保管しているため、興味を引きそうなものを入れ替えて展示できればと思っています。

(3) 令和8年度事業計画（案）について

議長：それでは、令和8年度の事業計画案についてお願いします。

事務局：(資料により令和8年度事業計画（案）について説明)

議長：ありがとうございます。皆さんの意見をいただきたいと思います。

議長：子どもの遊びという点では、ベーゴマやおはじきなどがあると思います。その場でやってみるのは難しいですが展示ならできると思います。

委員：竹とんぼや竹関係はどうでしょうか。岩間では竹細工をしている人もいます。ベーゴマは回す台が必要です。

議長：都会では流行っているところは流行っていて、大会が行われています。

ところで、展示の字が小さくて直していただきたいです。展示資料を見ながら「この資料にはこうに書いてあるよ」と言えないため、壁面の説明を大きくしていただくとありがたいです。

資料館の修理関係で、外装は90年近く経っている木造の建物であるため、外装の板を塗りなおしていただけると長持ちすると思います。

宍戸駅の歴史民俗資料館の案内看板ですが、裏面には何も書かれていないので利用できればよいと思います。

地元の方から歴史民俗資料館はいつ開いているのかとよく聞かれます。それから開館と閉館を知らせる表示が、目の前にフェンスがあることでほとんど見えないため、これも工夫したいと考えています。

また、夜に警備してくれている警備員の方により、防犯についてはよい状態です。

令和8年度事業計画案、もしくは今後の資料館のあり方について何かありますか。奈良県では、博物館の収蔵庫が満杯のため、論議が行われているようです。

委員：展示するものがたくさんあっても、それを展示して子どもたちに見せるのは難しいかなと思います。

議長：真壁伝承館は古代からのものを全部整理しています。しかし歴史民俗資料館の成り立ちは、昭和50年代にそれぞれの家にあったものを募って出していただいたものですから真壁伝承館とは異なります。ですが、民具を出していただいた家の方が見に来てくれたことがありました。提供いただいた方は愛着がわきます。

委員：養蚕を展示するとしても、収蔵品をそのまま展示するだけでは不足しています。そのような意味では、ただ収集して展示するばかりではなく、保存することも考えないと難しいと思います。養蚕の場合、機織り機などがまだ地元に残っているところもあるため、寄贈してもらい、使っている人がいれば使っているところがわかるようにして展示するのは一つの方法だと思います。養蚕なら桑の葉からの展示になるので相当大変なものになります。

議長：確かに養蚕関係は友部や岩間で盛んだった時期がありました。友部の東町に蚕種共同組合があり、大古山には地産飼育所があって昭和40年代に盛んでした。歴史民俗資料館にもいくつか養蚕に関する道具がありますが、それが全てではない状態です。

委員：今年度の子どもの娯楽と遊びに限定すれば、さっそく集めなくてはならないと思います。あそこにあるものばかりでは展示にならないです。

議長：先ほどのように岩間の竹製品を活かすことも考えていただきたいです。あとは子どもに関心を持ってもらう。

委員：今の子どもたちの遊びはテレビゲームやスマホですが、ベーゴマなど懐かしい遊びには興味を引くと思います。私は遊びに限らず、お米の作り方や唐箕など、昔の生活を見るのも、今の子どもたちには新鮮かと思っています。

議長：照明のLED化について、今後歴史民俗資料館や市の施設などはどうなりますか？

事務局：蛍光灯の製造が廃止されるに伴い、順次更新になると思っています。

議長：歴史民俗資料館などもそれに対応する形ですか？

事務局：現在そのようになっており、同じフロアの同じ照明でも、蛍光灯とLED照明が混在

している状態です。それを随時更新していくことになります。

議長：歴史民俗資料館の2階西側、前は畳の部屋で今は板の間ですが、そこを地元の方々が使おうという機運があります。

委員：そこは耐震はきちんとしていて、何人まで入れるなど基準はあるのですか？多くの人が集まり何かやろうとすると、消防法か何かに引っかかるのではないですか？

議長：資料館として改修したときに、床はコンパネか何かで補強したと思います。今の状態であれば大丈夫かと思います。改修したときに補強したのではないのでしょうか。
また、以前は歴史民俗資料館裏手を埋蔵文化財の保管や作業で使っていました。今はそれが全部旧箱田小学校の教室に収蔵することになり、裏手側はすっきりしました。

委員：奥の部屋に文書類が山積みになっている気がします。

議長：北側の預けられたものを入れておく部屋ですね。

委員：何が入っているのか、確実に分かっているのですか？

議長：貴重なものでは脩徳館の藩学校の教科書などがあります。北側の部屋にどのくらい入っていますか？

事務局：昨年度まで資料の整理を少しずつ行ってきました。まだ文書類は手つかずですが、物品については歴史民俗資料館全体で485点あることは確認できており、その一覧は作成しています。

議長：そこを開放して何かに使うことのできる部屋にはなりませんか？処分するのは現在問題になっています。茨城県立歴史館でも課題になっているそうです。

委員：どんどん増えていますね。

議長：外注管理もお金がかかって、お金が容易ではないです。ふるさと資料館の立木を切る費用も掛かりましたね。

議長：地域交流センター大橋は市の管理なのですか？生涯学習課なのですか？

事務局：管理は総務課です。

議長：地元の人たちも使っているのですか？

事務局：1階は使っています。2階は物品の保管に使っているため、地元の方も立ち入っていないと思います。

議長：それでは、令和8年度の事業計画案についてご承認いただけるでしょうか。

ありがとうございます。そうしますと、歴史民俗資料館を主体に考えて、郷土資料館とふるさと資料館は昨年度と同様の計画ですね。

(4) その他

- ・ふるさと資料館、郷土資料館、地域交流センター大橋の資料保存について意見がありました。